

# ビタミンB<sub>1</sub>主薬製剤 **キューピーコーワコンドロイザー**

「立ち上がろうとすると痛む」「階段の昇り降りがつらい」「気候が変化した時に痛む」といった、ひざなどの関節痛や神経痛は、日常生活に大きな支障をきたしかねないつらい症状です。

これらの痛みは、関節の動きをスムーズにさせる働きのある軟骨成分が不足したり、炎症などを起こしたりすることによって生じるもので、加齢・運動・体重の増加など様々な要因によって引き起こされます。

キューピーコーワコンドロイザーは、活性型ビタミンB<sub>1</sub>(ベンフォチアミン)、ビタミンB<sub>12</sub>(シアノコバラミン)、ビタミンE(トコフェロールコハク酸エステルカルシウム)、関節軟骨成分の合成を促進するコンドロイチン硫酸エステルナトリウムに加え、痛みや炎症を抑える作用のある生薬のボウイ(防已)乾燥エキスを同時配合しています。

おのみになりますと、これらの有効成分が協調して働き、ひざなどのつらい関節痛・神経痛を改善していきます。

## ⚠ 使用上の注意



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
軟便、下痢
- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 効能・効果

- 次の諸症状の緩和：

関節痛・筋肉痛(腰痛、肩こり、五十肩など)、神経痛、手足のしびれ、便秘、眼精疲労

- 脚気

「ただし、これら1・2の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談してください。」

- 次の場合のビタミンB<sub>1</sub>の補給：

肉体疲労時、病中病後の体力低下時

## 用法・用量

下記の量を朝夕食後に水又は温湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	2回
15歳未満の小児	服用しないこと	

### <用法・用量に関連する注意>

用法・用量を厳守してください。

## 成分・分量(6錠中)

成分・分量	働き
ボウイ乾燥エキス 240.0mg 〔防已として 3000mg〕	大葛藤(オオツヅラフジ)の茎及び根茎から抽出された成分で、痛みや炎症を抑える作用があり、関節痛・神経痛などを改善します。
コンドロイチン硫酸エステルナトリウム 800.0mg	関節軟骨内の弾力性や保水性を高める働きがあり、軟骨成分の合成を促進する作用などによって、関節を正常に保ちます。
ベンフォチアミン 41.49mg 〔チアミン塩化物塩酸塩(V.B <sub>1</sub> )として 30.0mg〕	からだに取り込まれやすくした活性型ビタミンB <sub>1</sub> で、関節痛・神経痛などを改善します。
シアノコバラミン(V.B <sub>12</sub> ) 60.0μg	傷ついた末梢神経の修復に関与し、関節痛・神経痛などを改善します。
トコフェロールコハク酸エステルカルシウム 51.79mg 〔dl-α-トコフェロールコハク酸エステル(V.E)として 50.0mg〕	血流促進作用のあるビタミンで、関節・神経の働きを助けます。

〔添加物〕グルコサミン塩酸塩、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、クロスポビドン、ステアリン酸Mg、ポリビニルアルコール・アクリル酸・メタクリル酸メチル共重合体、タルク、酸化チタン、クエン酸トリエチル、ステアリン酸グリセリン、ラウリル硫酸Na、カルナウバロウ

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 水分が錠剤につくと、内容成分の変化のもととなりますので、水滴を落としたり、ぬれた手で触れないでください。誤って錠剤をぬらした場合は、ぬれた錠剤を廃棄してください。
- (5) 容器の中の詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するために入れてあるもので、キャップをあけた後は、必ず捨ててください。
- (6) 容器のキャップのしめ方が不十分な場合、湿気などにより、品質に影響を与える場合がありますので、服用のつどキャップをよくしめてください。
- (7) 外箱及びラベルの「開封年月日」記入欄に、キャップをあけた日付を記入してください。
- (8) 使用期限(外箱及びラベルに記載)をすぎた製品は服用しないでください。また、一度キャップをあけた後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安に服用してください。



本製品に関するお問い合わせは、お買い求めのお店又は  
興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センターへお願いします。  
〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14  
TEL 03-3279-7755 FAX 03-3279-7566  
電話受付時間：月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

